熱中症予防・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための取り組み

０．大会参加にあたって

　・日頃から十分な睡眠時間を確保し，食事は栄養のバランスよく摂取し，欠食しないようにすること。

　・大会に参加する生徒，監督，コーチ，運営スタッフ等は，大会の１週間前からの検温結果及び体調について「体調管理表」（様式２）に記録し，体調管理に努める。また，各校は大会に参加する生徒，監督，コーチに体調管理表を提出させ体調を把握する。

・各校は大会参加同意書と体調管理表をもとに「学校同行者体調記録表」（様式３）を作成し，専門委員長に提出する。

・当日，検温と体調確認を行い，発熱や体調不良等風邪の症状がある場合は参加できない。主力選手であってもこのことを徹底する。

１．開会式では

　・開会式は実施しない。連絡事項などを徹底するために各校でミーティングを行う。その際は，全員マスク着用し，前後左右の間隔(１～２ｍぐらい)をできるだけあける。

２．試合では

　・帽子，サンバイザーなどの着用を心がけること。

　・試合前後のあいさつ時は相手選手，審判との距離を２ｍあけ，握手はしない。

　・団体戦時にあいさつの後，密集・密接の状態で発声するような円陣などは禁止する。

　・試合中，ペアとのハイタッチや握手など接触する行動を禁止する。

　・チェンジサイズ時のコーチングの時は，監督・コーチはマスクを着用する。

　・大会当日の気温によっては，チェンジサービス時に審判台付近での給水を認める。(チェンジサイズ時に水筒などを審判台の下へ移動しておくこと。)

　・選手は試合前にマスクをはずし，各自でマスクケースやビニール袋などに入れ，保管しておく。

　・試合後のあいさつ時に手指消毒用アルコール消毒液で手指消毒を行う。(審判台下に設置。審判も)

３．応援では

　・大きな声を出す応援をしない。

・周りとの間隔をできるだけあける。

・帽子，サンバイザーなどの着用を心がけ，こまめな水分補給を行う。

４．審判では

　・マスクは熱中症やスムーズな進行のために，状況を見て外してもよい。

　・採点表に記入するための筆記用具は各自で準備する。(本部では準備しない。)

　・チェンジサイズ時，チェンジサービス時の給水を認める。

５．その他

　・避暑を目的としたテントを可能な限り持参し設営する。

　・選手は試合中以外はマスクを着用する。ただし，状況をみて適宜外してもよい。

　・手洗いをこまめに行う。（試合前後，審判後，トイレ後，食事前後は必ず石鹸を使った手洗いをする。）

　・弁当を食べるときは，できるだけ対面しないようにし，おかずの交換などのやりとりはしない。

　・試合後，勝ったチーム(ペア)の１名が本部に採点票とボールを持ってくる。

　・ミーティングなどで集合する場合は，密集・密接の状況にならないようにできる限りの工夫を各校する。随時，熱中症予防・感染拡大防止のためのアナウンスを行う。

　・審判台・ベンチの消毒については，１日２回，行う。

　　　①朝の練習時→東部地区の顧問の先生方でお願いします。

　　　②大会終了時→残られている学校の顧問の先生方でお願いします。